

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 学校法人 川崎学園		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 701-0192 岡山県倉敷市松島 5 7 7	
本票作成	部署名：学校法人川崎学園 大学事務局 施設部				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学附属川崎病院、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校を有する学校法人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	川崎学園（附属川崎病院・附属高校を除く）		岡山県倉敷市松島 5 7 7	
	②	川崎医科大学附属川崎病院		岡山県岡山市北区中山下 2-1-80	
	③	川崎医科大学附属高等学校		岡山県倉敷市生坂 1 6 6 1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 27 )年度排出量		目標年度(平成 28 年度)	
	40,452 t CO <sub>2</sub>	37,751 t CO <sub>2</sub>		39,238 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 27 )年度排出量	
	①	川崎学園（附属川崎病院・附属高校を除く）		33,599 t CO <sub>2</sub>	
	②	川崎医科大学附属川崎病院		3,674 t CO <sub>2</sub>	
	③	川崎医科大学附属高等学校		480 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>		
			t CO <sub>2</sub>		
削減目標の達成状況	計画期間：平成 26 年度 ～ 平成 28 年度 ( 3 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 27 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.7 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積 351.4 千m <sup>2</sup>		原単位当たり排出量		
			基準年度	( 27 )年度	目標年度
			115.1 t CO <sub>2</sub> /(千m <sup>2</sup> )	107.4 t CO <sub>2</sub> /(千m <sup>2</sup> )	111.6 t CO <sub>2</sub> /(千m <sup>2</sup> )
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ活動の実施等によりエネルギー使用量は減少しているが温室効果ガス排出量が増加している、これは電気の排出係数が大きくなったためである。当面係数の改善は見込めないと思われるが、川崎学園エネルギー管理標準を順守し、日々の省エネ活動及び各種温暖化防止対策を全員参加で着実に実施していくことが重要である。</li> <li>・今後も、追加の削減策を検討・実施していくことが重要である。</li> <li>・管理標準を遵守・継続実施していくことが重要である。</li> </ul>					

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理及び地球温暖化対策推進を実施するために「地球温暖化対策推進委員会」を設置している（年2回開催）。
- ・前記「地球温暖化対策推進委員会」を受けて、各施設では個別に省エネ及び温室効果ガス排出削減活動を計画・実施している。
- ・各施設にエネルギー管理講習修了者を省エネアドバイザーとして配置し、きめ細かい対応(省エネに関する問い合わせ、省エネ実施等)を可能とする体制を整備している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(27年度実施分)	(H27年度実施分)
川崎学園	・避難誘導灯を高効率ランプ機器（LED）に更新（計27台、CO2削減量0.5t/年）
〃	・天井蛍光灯（直管40形）を順次LEDに更新（計989本、CO2削減量64t/年）
〃	・自動販売機を省エネ型に更新（計4台、撤去:4台）
〃	・照明の高効率管・球の導入（直管40形LED以外）（CO2削減量1.5t/年）
〃	・空調機のモータを高効率トップランナータイプへ交換 電気使用量削減（計1台）
〃	・給気、排気ファンの運転時間短縮と温度センサーを取付け運転制御（CO2削減量10t/年）
〃	・照明点灯時間短縮、消灯による電気使用量削減（CO2削減量5t/年）
(今後実施予定分)	(今後実施予定分)
川崎学園	・天井蛍光灯（直管40形）を順次LEDに継続して更新する
〃	・自動販売機を省エネ型へ順次更新する
〃	・給気、排気ファンの運転時間短縮と温度センサーを取付け運転制御する
〃	・別館6階大会議室の大型パッケージエアコンの更新（高効率インバータ化）
〃	・照明器具（避難誘導灯含）の高効率管・球・LED機器へ順次更新する
〃	・本館A棟#A2エレベータの高効率インバータリニューアル
〃	・医科大学女子寮の熱源をエコキュートへ改修する

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	太陽光発電設備設置済み（H25年度・川崎医療短期大学）6kw
その他	無	

**【その他特記事項】**

その他の取組		
(1) 空調設定温度の厳守、照明点灯・空調運転時間の短縮とスケジュール制御時間の見直し		
(2) 各施設での省エネパトロールの実施、学生も参加させ女性目線でのきめ細かな指摘と改善		
(3) 学園広報誌及び学園HPへの啓蒙記事・省エネ実施事例の掲載により省エネ意識を高める		
(4) 新入生への省エネ教育の実施		
(5) 大学・寮の長期休暇中、エレベータの間引き運転の実施及び自動販売機の休止、照明消灯		
(6) パソコン・OA機器の省エネ設定と退社時電源OFF		
(7) 照明ゾーニング・人感センサー等の取り付け工事による不要点灯の削減		
(8) アースキーパーメンバー及びライトダウンキャンペーンに参加		